

主体的・対話的で深い学びを踏まえた授業づくりの視点の検討

—知的障害教育に携わる特別支援学級担任への質問紙調査から—

葛西一馬

（星槎大学大学院教育学研究科博士後期課程）

KEY WORDS: 知的障害教育 授業づくり 主体的・対話的で深い学び

（目的）

2017 年 4 月に公示された学習指導要領において主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが示された（文部科学省 2017）。知的障害教育は、生活単元学習や作業学習の領域教科を合わせた指導の中で、総合学習や体験学習を通して主体性を重視する教育が行われてきた（三浦・春日 2019）と述べられている。葛西・西永（2020）の調査では、知的障害教育における主体的・対話的で深い学びを踏まえた授業づくりの視点は 5 つあり、その視点からの授業評価の必要性が指摘されている。しかし、調査対象は知的障害特別支援学校教員であり、小中学校の特別支援学級担任の授業づくりの視点は十分に検討されていない。そこで、本研究は、小中学校の特別支援学級担任が知的障害教育においてどのような視点から授業づくりを行っているかを明らかにすることを目的とした。

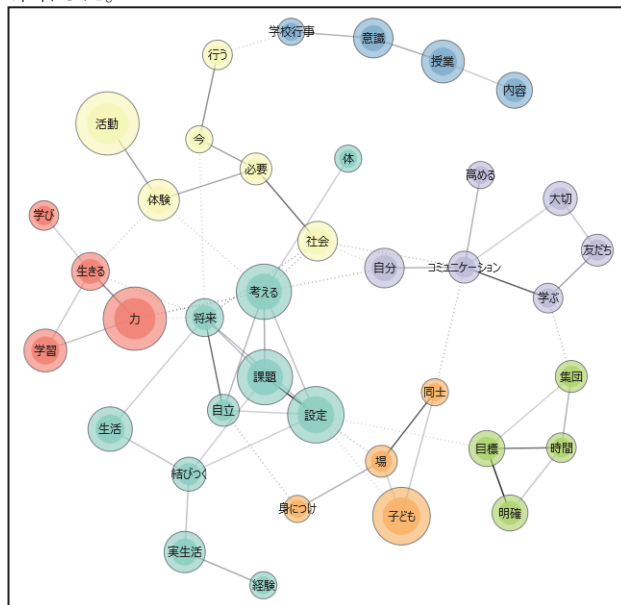
（方法）

A 市立小中学校の特別支援学級担任（131 名）を対象とし、質問紙調査（無記名郵送法）を行った。調査期間は 2020 年 8 月から 10 月であった。A 市教育委員会担当課の許可を得た後、各学校に質問紙を郵送し、特別支援学級担任に配布、回答してもらった後、返信用封筒にて返信してもらった。質問紙はフェイスシート及び、調査項目として葛西・西永（2020）の「主体的・対話的で深い学びの視点をふまえた生活単元学習の授業づくりに関する 18 項目」「生活単元学習の授業づくりの中で大切にしていること（自由記述）」等によって構成した。本研究は、「生活単元学習の授業づくりにおいて大切にしていること（自由記述）」を対象とし、テキストマイニングによって分析をした。分析ソフトは KHcoder3 を使用した。なお、本研究は星槎大学研究倫理審査委員会の承認を得た。（承認番号：2020-13）

（結果）

質問紙の回収数は 108 で、回収率は 82%（配布数 131）であった。回収できた質問紙のうち、「生活単元学習の授業づくりにおいて大切にしていること」において自由記述の回答が記されていた 93 名を分析対象とした。前処理を実施した後、共起ネットワーク図を作成すると、7 つのカテゴリーが示された。1 つ目のカテゴリーは「実生活」「将来」「課題」等の言葉で形成されていた。このカテゴリーを「将来の生活や実生活に必要な課題設定」と命名した。2 つ目のカテゴリーは「活動」「体験」等の言葉で形成されていた。このカテゴリーを「社会生活につながる体験活動」と命名した。3 つ目のカテゴリーは「コミュニケーション」「友だち」などの言葉で形成されていた。このカテゴリーを「コミュニケーション」と命名した。4 つ目のカテゴリーは「力」「学習」等の言葉で形成されていた。このカテゴリーを「生きる力を育む学習」と命名した。5 つ目のカテゴリーは、「子ども」「場」等の言葉で形成されていた。このカテゴリーを「子どもが関わり合う場づくり」と命名した。6 つ目のカテゴリーは「明確」「目標」等の言葉で形成されていた。このカテゴリーを「目標が明確な活動」と命名した。7 つ目のカテゴリーは「学校行事」「意識」等の言葉で形成されていた。このカテゴリーを「学校行事を意識した内容」と

命名した。



（考察）

描かれた共起ネットワーク図からは 7 つのカテゴリーが示され、小中学校の特別支援学級担任が生活単元学習の授業づくりにおいて 7 つの視点を大切にして授業づくりを行っていることが明らかとなった。この点については、葛西・西永（2020）の調査結果との差異が認められる。今後、知的障害教育における授業づくりの視点について、より細かい検討が求められる。また、本研究において示されたカテゴリーを見てみると、最も多くの語が共起していたのは、「将来の生活や実生活に必要な課題設定」であった。知的障害教育は生活を中心とした教育が柱となり、様々な実践が行われてきているが、本研究においても、その点が強く意識されていることが再確認された。今後も将来の生活や実生活といった子どもの「生活」を常に捉えなおし、指導方法を充実させていくことが求められるであろう。加えて、カテゴリーの中には「コミュニケーション」や「子どもが関わり合う場づくり」があった。これは、主体的・対話的で深い学びの 1 つである、対話的な学びが特に大切にされていることも明らかとなった。今後は、対話的な学びを取り入れた実践を整理し、どのような対話が重視されてきたかについて検討する必要があるだろう。

（文献）

- ・葛西一馬・西永堅. (2020). 知的障害教育における「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた授業づくりの視点. 共生科学, 11(11), pp110-121.
- ・三浦駿介・春日知花 (2019). 知的障害教育における「主体的・対話的で深い学び」：生活単元学習「ラーメン店をひらこう」の実践から. 埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要, 17, pp9-16.
- ・文部科学省(2017). 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（幼稚園・小学部・中学部）

(KASAI kazuma)